12471

ベネシャンブラインド

Uni Conモア 25･35

高遮蔽タイプ

ワンコントロール式

取扱説明書

保証書

このたびは、当社商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、末永くご愛用くださいますようお願いいたします。

お読みになった後は、大切に保管してください。

販売店様へのお願い

本取扱説明書は取付け後、必ずお客様へお渡しください。

⚠警告　コードやチェーンが体に巻きついたり引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。

日本ブラインド工業会

株式会社ニチベイ
本社 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-15-4
お客様サービス窓口：TEL 03-3272-2595（平日9時～17時30分）
ホームページアドレス http://www.nichi-bei.co.jp

安全にご使用していただくために

必ずお守りください

ここでは、お買い上げいただいた製品を正しく取付け、安全にご使用していただくために、特に注意していただくことを表示してあります。
取付けの前によくお読みになり、適切な取扱をしていただきますようお願いいたします。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

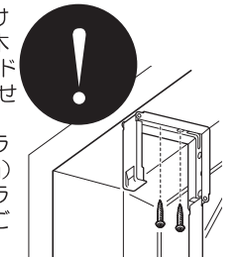
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「重傷を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	この表示の欄は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この表示の欄は、必ずしていただく「強制」内容です。

⚠警告

● 付属のブラケット取付けネジは木枠用ですので木質以外の下地(石膏ボード等)にはご使用になれません。
取付け面の材質及びブラケットのネジ穴(φ4.2㎜)に適合するネジ及びプラグ・アンカー等を別にご用意ください。



● ブラケット取付け時は、ブラケット１個に付き必ず２本以上のネジでしっかり固定してください。
また、本体取付け時は、本体がブラケットにしっかり固定されているか必ず確認してください。取付けが不完全ですと製品が落下してケガをしたり物を破損する恐れがあります。

● 製品にぶら下がったり急激な操作や無理な操作は絶対におやめください。
製品の落下破損などによる思わぬ事故の原因となります。

● 製品に物を吊り下げたりぶら下げることは絶対におやめください。
製品が破損・落下して思わぬ事故の原因となります。

● コード(チェーン)等にぶら下がったり、無理に引張ったりすることは絶対におやめください。メカ部の破損や製品が落下する恐れがあります。
また、お子様がコード(チェーン)等で 遊びますと、コード(チェーン)等が首や体に巻付くなどして思わぬ事故を招く恐れがありますので、ご注意ください。

⚠注意

●強風の時や雨の降っている時は必ず窓を閉めるかブラインドを上げてください。
製品の破損や思わぬ事故の原因となります。

●昇降・作動の範囲内に破損の恐れのある物や操作の障害となる物を置かないでください。
また、操作の際は範囲内に人がいないことを必ず確認してください。

●水濡れ(結露・雨漏り等)の発生が予想される場所への取付けは絶対におやめください。
●高温・多湿の条件が続く場所(サウナ・浴室・湯沸器近く・ボイラー室等)への取付けは絶対におやめください。

水濡れ禁止

●製品の分解は絶対におやめください。
製品の破損や故障の原因となります。

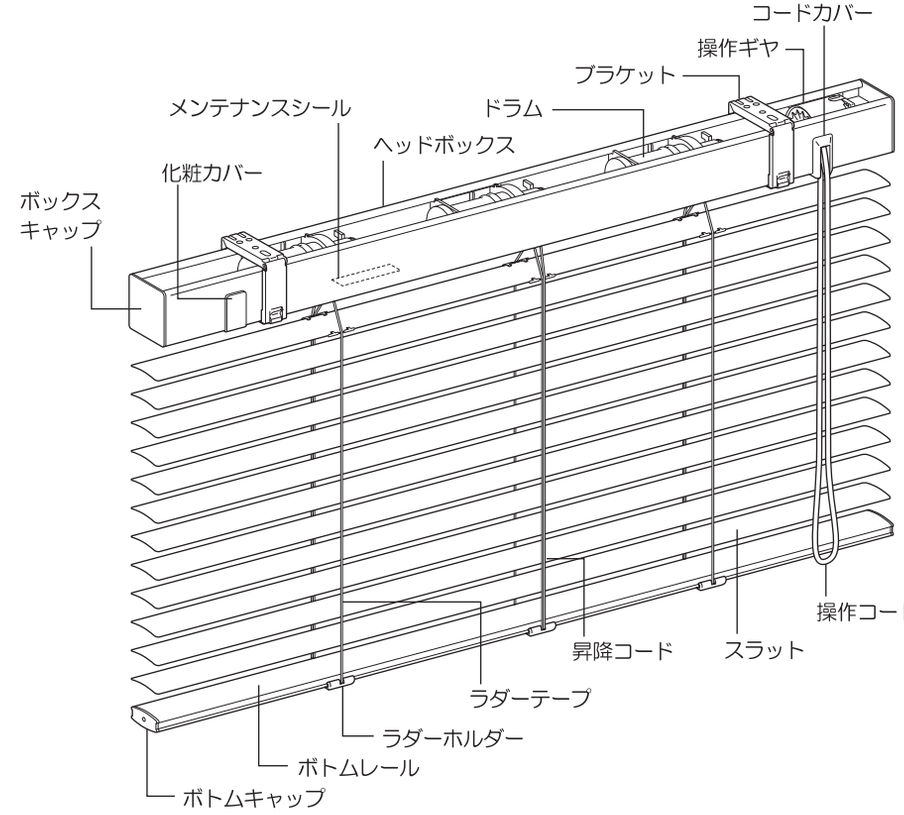
分解禁止

●製品は金属等を中心に構成されておりますが、火のそばでのご使用は絶対におやめください。

火気厳禁

●スラット(羽根)を掃除する場合はスラット端部で手を切る等のケガにご注意ください。

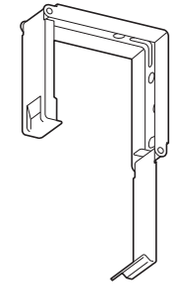
1 取付け完成図と各部の名称



※図は右操作の場合

2 付属部品

●ブラケット

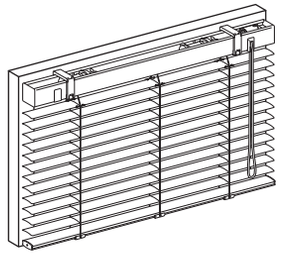


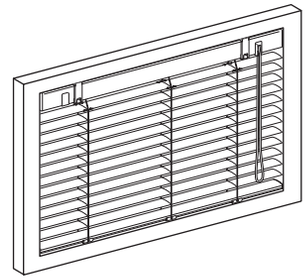
商品幅（mm）	使用ブラケット数量
500 ～ 1800	2ヶ
1810 ～ 3000	3ヶ
3010 ～ 4000	4ヶ

3 ブラケットの取付け方法

取 付 け の 種 類

窓枠の外側に取付ける場合 ＜正面付け＞	窓枠の内側に取付ける場合 ＜天井付け＞

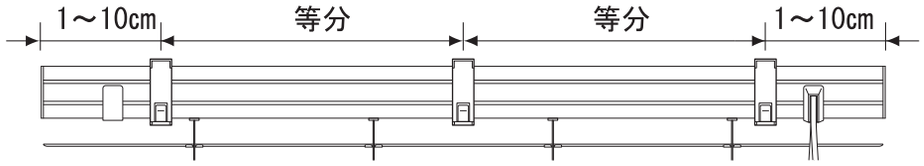




ブ ラ ケ ッ ト の 取 付 け

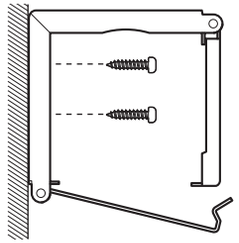
注意

●ブラケットは操作コード、化粧カバー、ラダーテープ位置をさけ、
両端は必ず１～１０cmの範囲に取付けてください。
３ヶ以上になる場合は、ほぼ等間隔になるように取付けてください。
●ブラケットは左右平行（水平）になるように取付けてください。

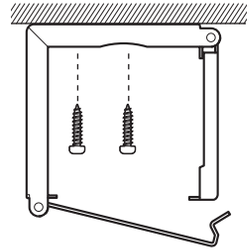


ブラケットをネジでしっかりと固定してください。

＜正面付け＞



＜天井付け＞

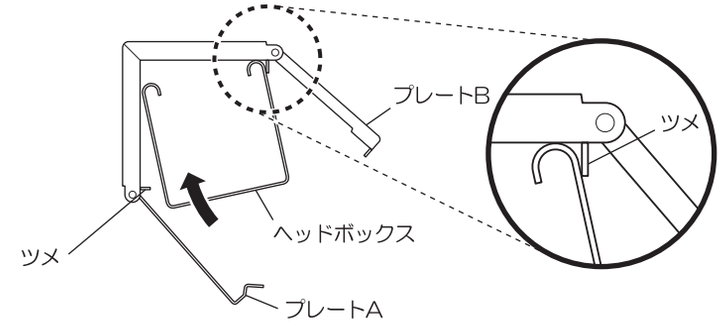


4 本体の取付け・取外し方法

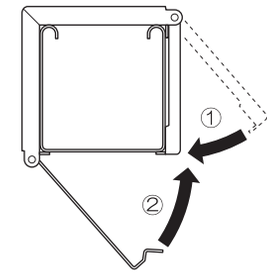
本 体 の 取 付 け

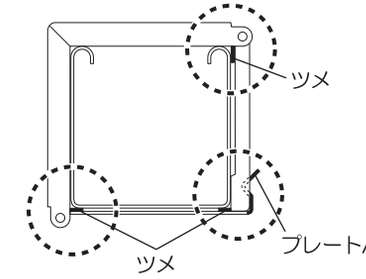
★本体取付け前に操作コードの奥側を引き、本体のスラット（羽根）を一段分下ろしてください。

①ブラケットのプレートＡを図のようにヘッドボックスとスラット１段目の間に入れながらブラケット下部のツメにのせプレートＢを閉じてください。



②プレートＡをプレートＢにしっかりとはめ込んで本体を固定してください。



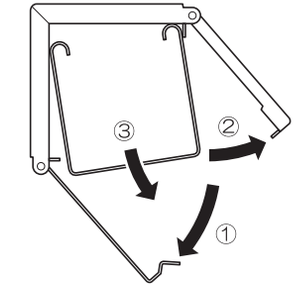


⚠警告 製品取付け時は、製品がブラケットにしっかりと固定されているか必ず確認してください。取付けが不完全ですと製品が落下してケガをしたり、物を破損する恐れがあります。

本 体 の 取 外 し

★本体取付け前に操作コードの奥側を引き、本体のスラット（羽根）を一段分下ろしてください。

①ヘッドボックスを手で支えながらブラケットのプレートＡのツメを下に引き、プレートＢから外してください。
②プレートＢを手前に引き出し、ヘッドボックスを矢印の方向へ取外してください。

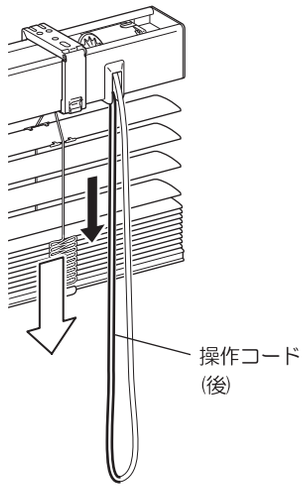


5 操作方法

ブラインドの昇降

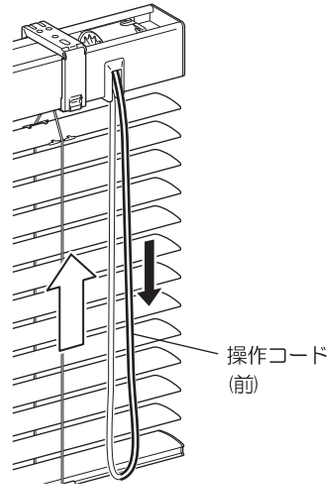
ブラインドを下げる

操作コードの奥側を引いてください。
ブラインドが下がりきりましたら、それ以上無理にコードを引かないでください。



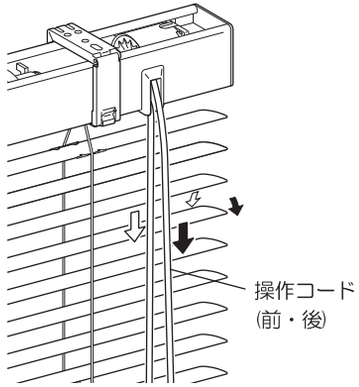
ブラインドを上げる

操作コードの手前側を引いてください。
ブラインドが上がりきりましたら、それ以上無理にコードを引かないでください。



スラットの角度調節

操作コードの手前・奥を交互に引き調整してください。

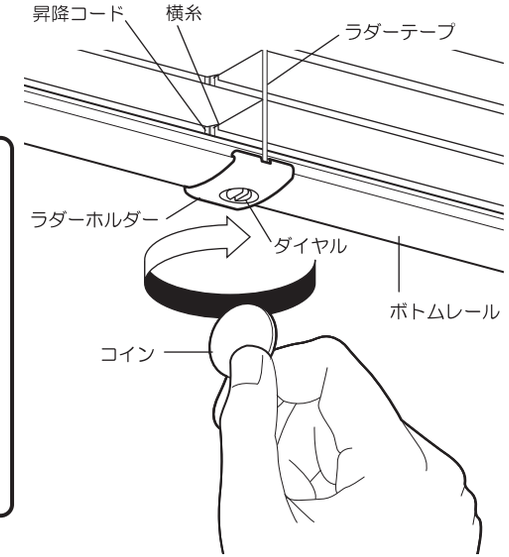


ポイント ブラインドを最下部まで下降させた際に、スラットを数回回転させることで遮蔽性が良くなります。

6 高さ調整方法

●ブラインドを全て降ろした際、ボトムレールが窓枠等に当たる場合、ブラインドの高さを短く微調整できます。
●高さ調整は昇降コード位置にあるダイヤル付きのラダーホルダーで行います。
※調整の際は、ダイヤル付きのラダーホルダーを全て同回転数で調整してください。

●ラダーホルダーのダイヤルにコインもしくはマイナスドライバーを差し込み、矢印の方向に回転させるとブラインドの高さを短くできます。
※ダイヤル1/4回転で約5mm調整できます。



注意

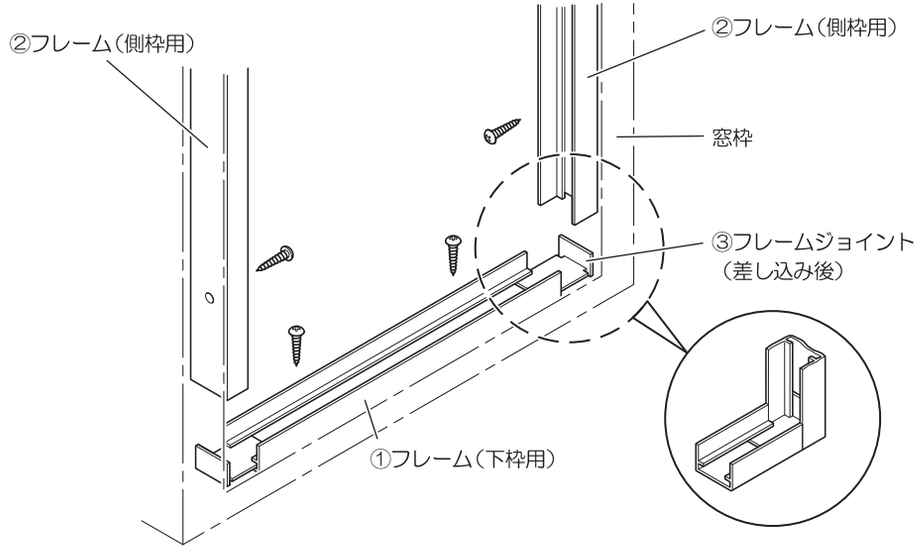
ラダーテープ最下段の横糸をハサミ等でカットすることで下記寸法まで短く調整できます。

・スラット幅２５mmの場合：約４０mm
・スラット幅３５mmの場合：約４０mm

但し、ラダーテープの横糸をカットすると元の高さに戻せなくなりますのでご注意ください。

7 フレーム(オプション)の取付け方法

●フレーム(下枠用)①両端に、フレームジョイント③を差し込んでください。
●両端のフレームジョイント③に、フレーム(側枠用)②を差し込み、窓枠にねじ止めをしてください。

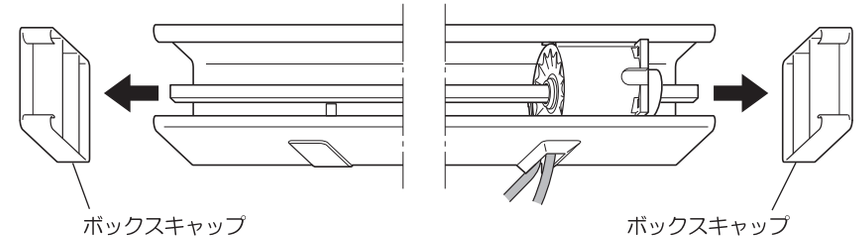


8 操作位置の変更方法

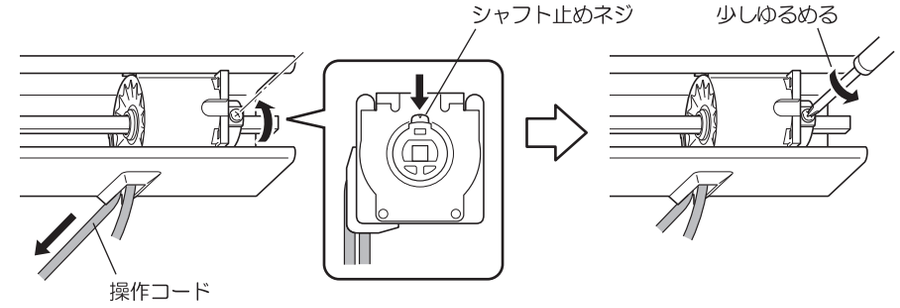
注意 操作位置を変更する際は、ヘッドボックスの端部や切り欠き口、スラット(羽根)などでケガをしないよう注意してください。

●ここでは例として右操作→左操作に変更する手順についてご説明します。

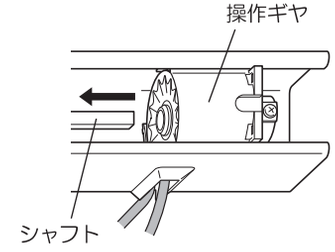
①左右のボックスキャップを取外します。



②操作コード奥側を引き、シャフト止めのネジが上を向くよう調整し、ネジを少しゆるめてください。

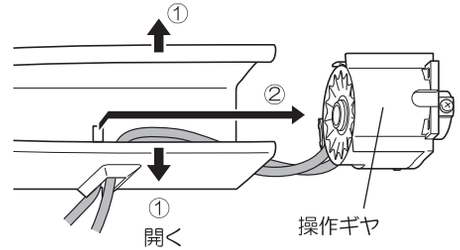


③シャフトを操作ギヤから反操作側に抜いてください。
※このとき、シャフトがドラムから抜けないよう注意してください。
※シャフトが抜きにくい場合は操作コードを上昇方向または下降方向に少しだけ引くと抜きやすくなります。

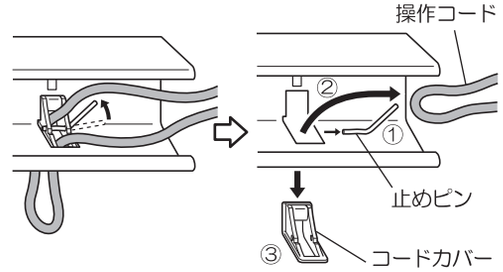


前ページの続き

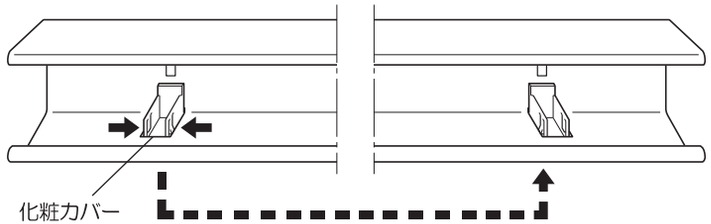
④ヘッドボックスを開きながら操作ギヤを抜き取ってください。



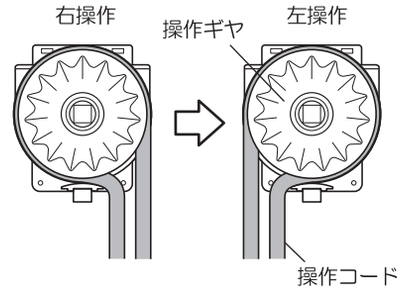
⑤コードカバーの止めピンを矢印の方向に回し、止めピンを横方向に抜き、操作コードをコードカバーから外してください。
⑥コードカバーをヘッドボックスの正面側より取外してください。



⑦反操作側の化粧カバーの裏側ツメ部をつまみながらヘッドボックスの正面側より取外してください。
⑧化粧カバーをヘッドボックスの新たな反操作側の化粧カバー取付け穴に差し込み固定してください。
※化粧カバーのツメ部でヘッドボックスに確実に止まるまで差し込んでください。

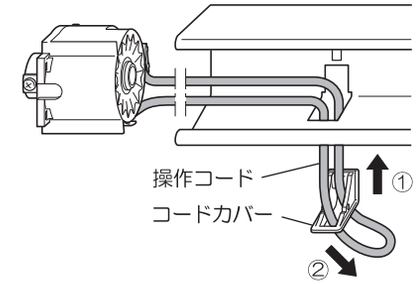


⑨操作ギヤを 180 度回転させ、操作ギヤ下部に掛かっている操作コードを操作ギヤから外し、反対側から操作コードを操作ギヤ下部に掛けてください。

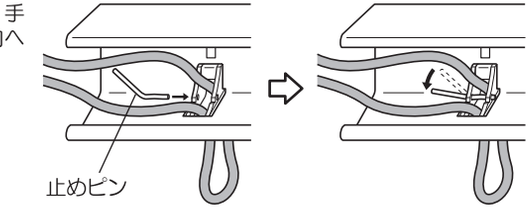


前ページの続き

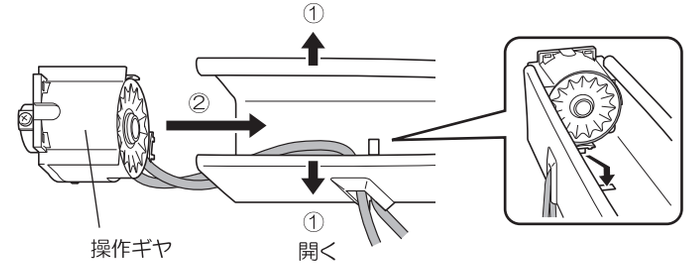
⑩コードカバーをヘッドボックスの新たな操作側のコードカバー取付け穴にヘッドボックス正面側より差し込み、操作コードをヘッドボックス内側よりコードカバーに通してください。
※操作コードは手前側・奥側のコード位置を間違わないように通してください。



⑪止めピンをコードカバーの穴、操作コード（手前・奥）の間の順に横から通し、矢印の方向へ押し込みコードカバーを固定してください。

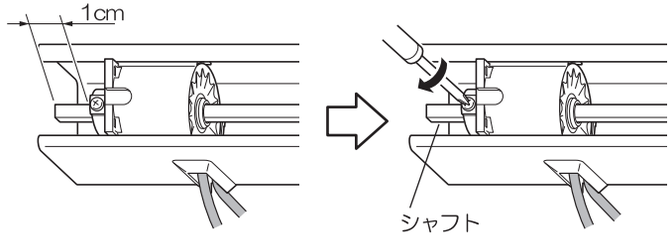


⑫操作コードをヘッドボックス正面側より引き出し、ヘッドボックスの上部を開きながら操作ギヤを組み込んでください。
※組み込みの際、操作ギヤ下部の突起がヘッドボックス下部の穴にはまっていることを確認してください。
※ヘッドボックス上部に操作ギヤがしっかりはまっていることを確認してください。

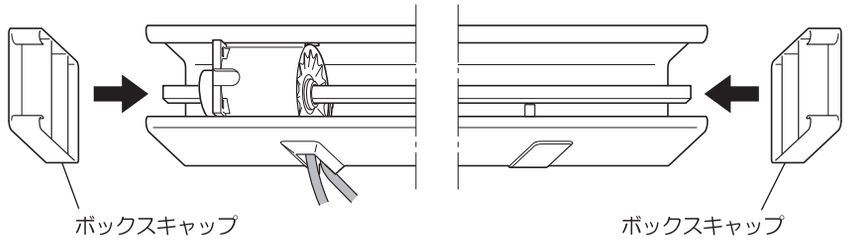


前ページの続き

⑬シャフトを操作ギヤの穴位置と合わせて挿入し、端部から１cm 程度突出するまで差し込み、シャフト止めのネジで固定してください。

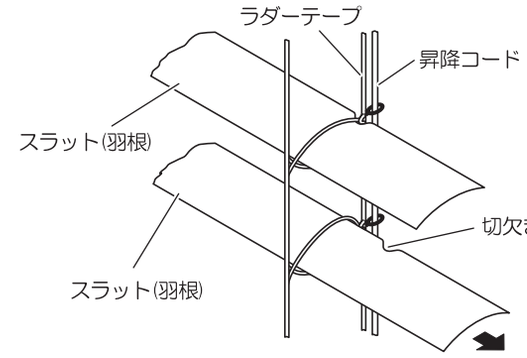


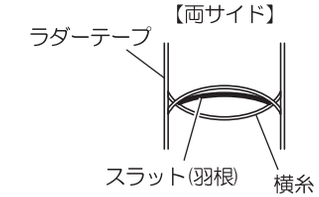
⑭左右のボックスキャップをヘッドボックスに取付けてください。

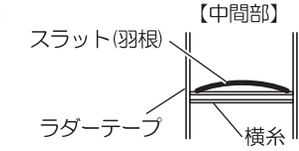


9 スラット（羽根）の交換方法

●各スラットは、両サイドのラダーテープの位置に、切欠き部があります。この切欠き部から、ラダーテープを外して、スラットを横に引き抜いてください。
●新しいスラットを取付ける場合は、両サイドのラダーテープの横糸を交差して、スラットを入れてください。（中間のラダーテープは横糸の上にのせます）この時、スラットの切欠き部にラダーテープが確実に 入っていることを確認してください。

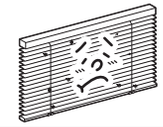
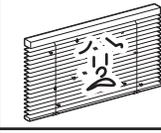
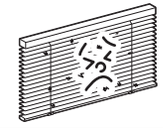






10 お手入れ方法（汚れの種類と使用する洗剤）

◎各洗剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

	汚れ方	洗剤・注意点
ホコリ・手あか	 ・コードに手あか ・ホコリは全面的につき、ヘッドボックスの中にもたまりやすい。	住居・家具用洗剤 スプレー式 （弱アルカリ性） ・すすぎはしっかりと行ってください。 ・コード類は、歯ブラシで部分洗いしてください。 ・浴室用（酸性）との併用は避けてください。
カビ	 ・スラット面に点々とした黒ズミ ・コード・ラダーテープに黒ズミ	スラット面は住居・家具用洗剤 （弱アルカリ性） コード類はカビ取り洗剤 （弱アルカリ性塩素系） カビ防止には除菌スプレー
油・ヤニ	 ブラインド全面、特にスラット凸面につきやすい。コード類も汚れやすい。	軽い油、ヤニ汚れに住居・家具用洗剤 （弱アルカリ性） ひどい油、ヤニ汚れにクリームクレンザー （弱アルカリ性）

◎住居・家具用洗剤・・・・スプレー式と水で薄めて使うタイプがあります。
◎カビ取り洗剤・・・・・・酸性タイプのカビ取り洗剤は使用しないでください。
　酸性洗剤との併用は有毒ガスが発生し危険です。
◎除菌スプレー・・・・・・スプレータイプが便利です。
◎クリームクレンザー・・・粉末よりも研磨粒子が細かい浴室用のものを特におすすめします。
　強くこすると塗装面を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

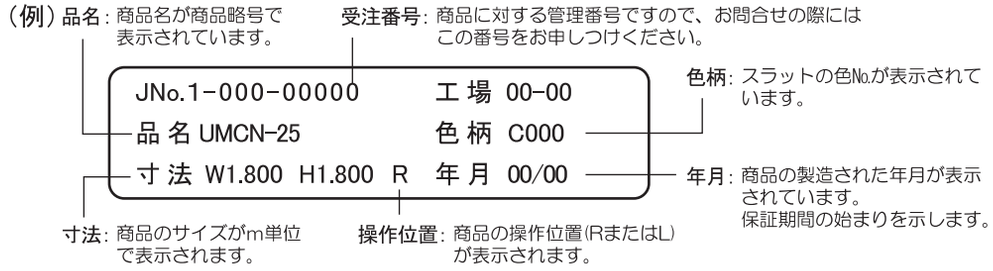
★酸化チタンコート遮熱スラット・酸化チタンコートスラットの場合は使用しないでください。

◎日頃のお手入れは羽根はたきやハンドモップ等でホコリを払ってください。油気の多いところではこまめに拭き取りしてください。

以下の洗剤は使用しないでください。
●レンジ・換気扇用洗剤・・アルカリ性洗剤で、油汚れはよく落ちますが、塗装がはがれることがありますので使用しないでください。
●酸性洗剤・・・・・・・・塗装がはがれることがありますので使用しないでください。
●各種漂白剤・・・・・・・塩素系、酸素系とも使用により、脱色及び黄変することがあります。

11 メンテナンスシールについて

この商品についての詳細はメンテナンスシールに記載してあります。
メンテナンスシールの貼り付け位置は『1取付け完成図と各部の名称』をご覧ください。



12 保証について

●この商品は保証対象商品です。下記の保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

保　証　書

このたびは、弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
当商品は厳密なる品質管理及び検査を経てお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合は無償で修理をいたします。
修理をご依頼の場合は、メンテナンスシールをご確認の上、お買い上げいただいた販売店又は、最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
ご使用前にキズ・汚れがあった場合は、７日以内にお申し出ください。

保証期間：お買い上げ日より１年間

但し保証期間内でも、次の場合は無償修理対象外となります。
1．使用上の誤りによる故障または破損。
2．不当な改造、修理による故障または破損。
3．火災、地震、水害、落雷等の天災地変による故障または破損。
4．特殊環境（薬品、極度の高温多湿等）による故障または破損。

●お客様サービス窓口：TEL03－3272－2595
（お問合せ時間：平日9時～17時30分）

株式会社ニチベイ
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-15-4